

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3622  
16年1月26日(火)  
・Fax 095-828-1953

## いまわれわれはどこにいるのか

おはようございます。

長崎市は半世紀ぶりの大雪で、仕事現場は通常の配達は休み、混合は四輪車で二人一組での配達となり、大変だった。苦労様です。

正月の元旦には全国紙の社説をみんな読み、ファイルする。朝日や毎日には政権を批判することから「偏向だ」といわれるが、であるならば一方の読売や産経などは、さしずめ「翼賛」新聞である。

マスコミが政治権力をチエックせず、提灯記事ばかりを書いている。戦前の大本営発表と変わらない。当時、日本人はこの記事を信じ、正しい戦争で、必ず勝つと思っていた。知らされないことでの無知ほど怖いものはない。

今年の社説で注目したのは、読売が「若者の非正規雇用を正規雇用に変えなければ明るい未来はない」と書いたことだ。私たちが二十年も前から指摘してきたことだ。



この非正規雇用(現代の奴隷制度)を社会矛盾とは見せず、競争社会の勝ち組、負け組論で無視してきた人たちは、これに言及せざるを得ない意識がでてきたのだろうか。否、そうではなく、翼賛の新聞だからこそ、このままでは国が危ついでとみたのだと思う。端的に言えば、非正規雇用の存在は、企業(富裕層と資

本家)には都合だが、国家や租税という立場から見ると、低所得、低納税ということ、貢献していないことになる。

本来、正規雇用化論はそうした国家主義的な発想ではなく、働く人中心の、彼ら彼女らが安心して生きていける権利を確保するという視野から取り組んでほしいと思う。

\*\*\*\*

去年一年、皆さんはどんな本を読まれただろうか。

去年九月の安保法制の関連本では、高橋源一郎が書いた「ぼくらの民主主義なんだぜ」が売れた。朝日新聞社で七八〇円だ。帯には「日本人には民主主義はムリなのか? 絶望しないための四八か条」と書かれている。

高橋は作家だが、明治学院大学の教授でもある。この大学は、昨年、若者たちの中心として安保反対の旗を振ったSEALDs 大学でもあり、右翼の殺人・襲撃予告で騒動になった大学だ。直接には安保法制とは無関係に書かれているが、読んでほしい。

二冊目は「ピケティ入門」(出版は「金曜日」)である。本来、原書を読むべきだが、

直接は難しいから竹信三恵子さんの「解説本」を読んだ。帯には「格差社会ニッポンへの警鐘。アベノミクスの正体を暴く」とある。

新自由主義は原理資本主義である。競争原理社会でいうと国の一切の規制を取り払うと、富は一部に集中する。日本やアメリカで典型的な現実、1%の富裕層がますます富み、独占から寡占に至るのだ。こうしたことを統計的に証拠立てた本である。



三冊目が「沈みゆく大国アメリカ」。堤美果著で集英社新書(七二〇円)である。帯には「1%の超・富裕層が仕掛けたオバマケアで、アメリカの医療は完全に崩壊する。次なるターゲットは日本だ」と書いてある。

日本でのオバマケアは、無保険のアメリカ人を救う皆保険制度だと思われていた。アメリカでも、最初は民主党も労組もこれを支持したが、実態は違った。医者はこれで破産し、中流から下層へ転落する実態のルポ記事本である。

このオバマケアの結果、アメリカの大労組すら解体されていくとも書かれている。だが、このオバマですら右派共

和党から見ると、社会主義者だとなる原理資本主義のアメリカ。TPPが始まる日本でも、生活者が暮らせない国となっていく。

最後に、元大蔵省と警察官僚の志賀櫻が書いた「タックス・ハイブーン」。岩波文庫で七六〇円。彼はOECD委員として、世界の国々の脱税を摘発する立場だった。世界の国民総生産は年間五十兆ドルだが、そのうち半分以上は闇のルートで地下経済に流れている。

その仕組みは、企業や富裕層が、税金制度がない国や地域に移り、稼いだ利益を税金として国に納めない。当然ながら国は歳入不足で赤字となり、世界経済はまさに危機的状況だといふ。こんな世界に怒りがわき、悔しい思いとともに読むが、興味深い本だ。



世界史的に富の寡占は大恐慌を招き、戦争へとつながる。これがいまだに、インドの歴史家、経済学者のラビ・バトラの「世界大恐慌」では社会循環論を唱え、世界の歴史は軍人の時代から知識人の時代へ、そして富裕層の時代へと移り、この三つの時代をくり返すとする説を唱える。

だが一九八〇年代から新自由主義「富裕層の支配する時代」が始まる。そして四十年後の現在は、1%の富裕層に富が集中する偏在で、九九%の絶対多数の国民が貧困に置かれる時代だ。

その結果、貧困が絶望的な閉塞感を呼び、内乱やテロが続発する世界が始まる。政治家は国民の怒りをかわすために、隣国を排外主義的に批判する。世界には軒並み国家主義が台頭する。

これがまさに現代で、歴史家のいう通り、富裕層から軍人の時代へと流れ、今はその狭間にある。

市販本では安倍首相や百田などの本が売れているというが、金力で一括購入という手法で世論操作されている。「本売りあげランキング」に惑わされずに、自らしっかり学ぶ。今年も確かな歴史観で平和のために闘う人でありたい。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めざせ、均等待遇、なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。